

# 口腔病学会共催 歯学部新教授による講演会のお知らせ

2021年7月1日(木) 17:30~19:30

**Zoom 配信のため、事前登録が必要です**

## 『これからの歯科麻酔臨床』

**前田 茂 教授 (歯科麻酔・口腔顔面痛制御学分野)**

歯科麻酔という領域は1964年に東京医科歯科大学歯学部で日本初の歯科麻酔学講座が開設されたことに始まり、現在はすべての歯学部に分野または講座が設置されています。歯科麻酔は、歯科患者の麻酔管理を行うだけでなく、モニタリングにより安全な歯科用を支え、ペインクリニックでは通常の歯科治療でカバーできない患者の訴えに対応しています。今回は歯科の特徴である外来での麻酔管理を中心に、私たちが行ってきた歯科麻酔の臨床と研究を紹介いたします。

## 『医療・地域福祉での歯科衛生士の役割を学術的に考察する』

**松尾 浩一郎 教授 (地域・福祉口腔機能管理学分野)**

口腔細菌が全身感染症や炎症性疾患の一因となり、口腔機能の低下がフレイルの一因となることが明らかになった現在、歯科は口腔疾患の予防だけでなく、全身疾患の予防として機能すべきです。急性期医療から介護サービス、介護予防の通いの場を含めた地域包括ケアシステムの中で、歯科衛生士は他職種や住民に対しての口腔の教育者となりえる存在だと思えます。その素地となる研究成果を含めながら歯科衛生士の役割についてあらためて考えていきたいと思えます。

## 『歯科における臨床・教育・研究のデジタルトランスフォーメーション』

**金澤 学 教授 (口腔デジタルプロセス学分野)**

近年歯科におけるデジタル化の流れは急速に進みつつある。口腔内スキャナ、ラボスキャナ、歯科用CADソフト、3Dプリンタ、およびミリングマシンなど最新のデジタル機器を利用した治療が、主流になりつつある。本講演では、デジタル化された歯冠補綴歯科治療を紹介しながら、有床義歯補綴のデジタル化に関わる研究を紹介するとともに、今後必要になる教育のデジタル化についても言及したい。



下記サイト、もしくはQRコードより登録の方に、参加に関する確認メールをお送りいたします。本学の機関登録をしたZoom IDでログインしてください。

<https://zoom.us/meeting/register/tJUqumopz4pHdTHSbjsifRMIjmcu-K0VH5S>

※問い合わせ 歯周病学分野 岩田隆紀・水谷幸嗣 (口腔病学会集会担当)

内線 5488 [mizuperi@tmd.ac.jp](mailto:mizuperi@tmd.ac.jp)